

# Day6

形容詞と副詞で  
彩りのある文に！



## Unit15. 形容詞

形容詞とは、名詞や代名詞に意味を付け加える語です。例えば、a good idea（良いアイディア）では、good（良い）が idea（アイディア）と述べています。逆に、a bad idea（悪いアイディア）は、bad（悪い）の意味が付け加えられています。

形容詞は a good idea（良いアイディア）のように名詞の前に置く場合と、He is good at art.（彼は絵がうまい）のように、be動詞の後ろに置く場合があります。

### \*形容詞の位置

名詞の前	a good idea.（良いアイディア）
be動詞の後	He is good at art.（彼は絵がうまい）

## ～練習問題～

Q1. それぞれの形容詞の意味を選んで答えましょう。

- |                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| 1. red (_____)  | 4. happy (_____)     |
| 2. high (_____) | 5. popular (_____)   |
| 3. new (_____)  | 6. difficult (_____) |

人気のある, 難しい, 新しい, 幸せな, 赤い, 高い

Q2. 日本語訳を手がかりに、正しい形容詞を選んで、  
文を完成させましょう。

1. That room is \_\_\_\_\_.  
(あの部屋は小さい)
2. John lives in a \_\_\_\_ house.  
(ジョンは大きな家に住んでいる)
3. Susan has \_\_\_\_ hair.  
(スーザンは黒髪をしている)
4. Tell me the \_\_\_\_ reason.  
(本当の理由を言いなさい)
5. He is \_\_\_\_\_.  
(彼は頭が良い)

black, real, small, large, smart

## \解答はこちら／

Q1.

1. red (赤い)
2. high (高い)
3. new (新しい)
4. happy (幸せな)
5. popular (人気のある)
6. difficult (難しい)

Q2.

1. That room is **small**.  
(あの部屋は小さい)
2. John lives in a **large** house.  
(ジョンは大きな家に住んでいる)
3. Susan has **black** hair.  
(スーザンは黒髪をしている)
4. Tell me the **real** reason.  
(本当の理由を言いなさい)
5. He is **smart**.  
(彼は頭が良い)

## Unit16. 副詞

副詞とは、動詞、形容詞、そして他の副詞などに意味を付け加える語です。例えば、very happy（とても幸せな）は、副詞 very（とても）が形容詞 happy（幸せな）を強調しています。

副詞の多くは、形容詞の語尾に -ly をつけた形になります。例えば、形容詞 beautiful（美しい）に -ly をつけると、副詞 beautifully（美しく）ができます。

### \*副詞の使い方

動詞+副詞	Mary smiled <b>happily</b> . (メアリーは幸せそうに笑った)
副詞+形容詞	He is a <b>very</b> good singer. (彼はとても良い歌手です)
副詞+副詞	She spoke <b>extremely</b> quickly. (彼女はひどく早口にしゃべった)
副詞	<b>Luckily</b> , the rain has stopped. (幸運なことに雨が上がりました)

## ～練習問題～

Q1. それぞれの副詞の意味を選んで答えましょう。

- |            |              |
|------------|--------------|
| 1. almost  | 4. abroad    |
| 2. usually | 5. clearly   |
| 3. simply  | 6. sometimes |

外国で, ほとんど, 単純に, 明らかに, たいてい, 時々

Q2. 日本語訳を手がかりに、正しい副詞を選んで、  
文を完成させましょう。

1. The train \_\_\_ leaves on time.  
(その電車はいつも時間通りに発車する)
2. Thank you \_\_\_ much.  
(ありがとうございます)
3. Ken spoke \_\_\_\_\_.  
(ケンは悲しげに話した)
4. I've lived \_\_\_ for five years.  
(私はここに5年間住んでいます)
5. I've \_\_\_ been to London.  
(ロンドンに行ったことがありません)

always, very, sadly, here, never

## \解答はこちら／

Q1.

1. almost (ほとんど)
2. usually (たいてい)
3. simply (単純に)
4. abroad (外国で)
5. clearly (明らかに)
6. sometimes (時々)

Q2.

1. The train **always** leaves on time.  
(その電車はいつも時間通りに発車する)
2. Thank you **very** much.  
(ありがとうございます)
3. Ken spoke **sadly**.  
(ケンは悲しげに話した)
4. I've lived **here** for five years.  
(私はここに5年間住んでいます)
5. I've **never** been to London.  
(ロンドンに行ったことがありません)

# Unit17. 比較構文

英語では、「AはBより大きい」のように、複数の物事を特定の基準で比較することがあります。このような文を比較構文と呼びます。

比較構文は形容詞（あるいは副詞）の語尾に **-er** をつけるか、語の前に **more** をつけます。**-er** や **more** をつける前の形を「原級」、つけたあとの形を「比較級」と言います。

## \*比較級の作り方

原級	比較級
tall	taller
beautiful	more beautiful

また、「CはもっともXだ」のように、程度が最大（あるいは最小のもの）を最上級と呼びます。最上級をつくるには、形容詞（あるいは副詞）の語尾に **-est** をつけるか、語の前に **most** をつけます。

## \*最上級の作り方

原級	最上級
tall	tallest
beautiful	most beautiful



## ～練習問題～

Q1. 次の語を比較級、または最上級に変化させましょう。

1. high – \_\_\_\_\_ – highest
2. cheap – cheaper – \_\_\_\_\_
3. careful – \_\_\_\_\_ – most careful
4. famous – \_\_\_\_\_ – \_\_\_\_\_

Q2. 日本語訳を手がかりに、文に適切な語を入れましょう。  
語は比較級、または最上級に変化させてください。

1. Susan is \_\_\_\_\_ than Bob.  
(スーザンはボブより年上です)
2. The train arrived two minutes \_\_\_\_\_ than usual.  
(電車はいつもより2分早く到着した)
3. Smith is the \_\_\_\_\_ of all the students.  
(スミスは全生徒の中でもっとも年少です)

early, old, young

## ＼解答はこちら／

Q1.

1. high – higher – highest
2. cheap – cheaper – cheapest
3. careful – more careful – most careful
4. famous – more famous – most famous

Q2.

1. Susan is **older** than Bob.  
(スーザンはボブより年上です)
2. The train arrived two minutes **earlier** than usual.  
(電車はいつもより2分早く到着した)
3. Smith is the **youngest** of all the students.  
(スミスは全生徒の中でもっとも年少です)